

# 山口県感染症発生週報

(第2週:平成26年1月6日～1月12日)

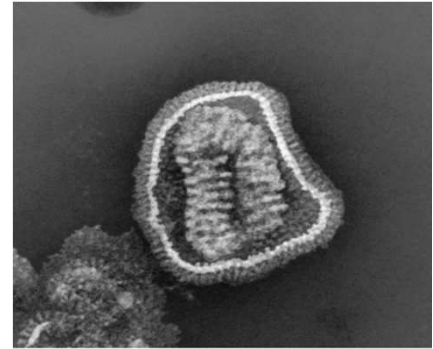
## 1 全数把握感染症

### 【2類感染症】

・結核: 2例(下関1、山口1)。

### 【5類感染症】

・麻疹: 1例(周南、推定感染地域: インドネシア)



インフルエンザウイルス

CDC / Dr. E. L. Palmer; Dr. M. L. Martin

## 2 定点把握感染症(5類感染症)

### (1)特記事項

- ・インフルエンザ: 報告数が増加しています。周南と長門では注意報レベルとなりました。迅速診断結果は、A型332例、B型69例で、24例は臨床診断・型別不明でした。[注意報レベル:周南(1週目)、長門(1週目)]\*
- ・RSウイルス感染症: 報告数が増加しています。特に、長門では昨年12月中旬より多い状態が続いています。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 山口で警報レベルが続いています。[警報レベル:山口(12週目)]\*
- ・感染性胃腸炎: 報告数が増加しています。周南で警報レベルとなりました。[警報レベル:周南(1週目)]\*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。  
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuho.php>

### (2)週別発生状況

疾患名	52週	1週	2週	疾患名	52週	1週	2週
インフルエンザ	292	142	425	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	98	45	94	ヘルパンギーナ	1	0	1
咽頭結膜熱	43	10	27	流行性耳下腺炎	9	2	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	120	57	153	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	486	281	629	流行性角結膜炎	1	1	5
水痘	99	47	94	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	7	3	6	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	2	2	0	マイコプラズマ肺炎	3	1	0
突発性発しん	29	14	34	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	1	1

### (3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	112	55	16	116	23	36	29	31	7	425
RSウイルス感染症	29	8	1	20	9	3	5	17	2	94
咽頭結膜熱	11	6	0	2	1	2	2	0	3	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	6	1	36	2	52	26	0	3	153
感染性胃腸炎	97	87	3	198	24	64	100	31	25	629
水痘	31	7	8	12	2	5	9	11	9	94
手足口病	0	0	0	2	2	2	0	0	0	6
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	9	1	1	14	1	3	5	0	0	34
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性耳下腺炎	5	1	1	0	0	0	1	0	0	8
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	3	0	0	0	0	2	0	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1